

# 『経口切除を行ったbrownish areaを呈する咽喉頭病変の検討』 について

第1版 2023年3月

## 1. 研究（調査）の目的と概略

上部消化管内視鏡による狭帯域光観察(Narrow Band Imaging: NBI)下に認める茶褐色領域(brownish area)は悪性腫瘍を検出する際に有用な所見とされています。食道や胃などの消化器科領域では診断方法として確立されていますが、咽喉頭領域においては、詳細に評価・検討されてはいません。経口切除を行い、病理学的評価を行えたbrownish areaを呈する咽喉頭病変を集積・検討することで、その病態や治療適応などを明らかにすることが目的です。

## 2. 研究（調査）の方法

2016年1月1日から2022年12月31日までの期間で当院にてbrownish areaを呈する咽喉頭病変と診断され、経口切除方法を用いた外科的治療を受けられた患者さんに関して、疾患名、発生部位、内視鏡所見、臨床経過(症状、診断、治療、治療成績)、年齢、性別に関する情報を収集します。氏名や住所は収集しません。

## 3. 調査期間

調査期間(2016年1月1日～2022年12月31日)、研究期間(研究実施機関の長の許可日から5年間)

## 4. 調査の対象となる患者さん

本研究の対象となるのは、2016年1月1日～2022年12月31日の間に、brownish areaを認める咽喉頭病変と診断され、治療を受けられた患者さんです。

## 5. この調査への協力は任意です。

本研究は、患者さんの診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者さんに新たな診療や検査を強いるものではありません。研究に用いる情報は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。

## 6. 研究資金・利益相反について

当研究において利益相反はありません。

## 7. お問い合わせ先

この研究は、日本赤十字社 和歌山医療センターの倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て行われます。

研究責任者: 辻村 隆司(日本赤十字社 和歌山医療センター 耳鼻咽喉科)

問い合わせ先:

日本赤十字社 和歌山医療センター 耳鼻咽喉科 辻村 隆司

電話 073-422-4171